



---

# 2004 環境報告書

---



# 目次



目次・コープぐんまの概要	環境法規制等の遵守状況	19
ご挨拶（発行にあたり）	環境情報受付状況	
コープぐんま環境方針	事故緊急事態への対応状況	20
環境マネジメントシステム	主な環境情報受付内容と回答	21
店舗での取り組み	2003年度ISO目標のまとめ	22
共同購入での取り組み	環境に関わるコストと収益	23
組合員の自主的な取り組み	ISO14001 一年次サーベイランス結果	24
地域と協力した活動と社会貢献	2004年度すすめていくこと	25
2003年度環境活動のまとめ	2003年度環境活動監査報告書	26-27
廃棄物・リサイクル	2003年度環境活動監査報告書への	
リサイクルの流れ	対応について	28
省エネ・省資源への取り組み	あゆみ	

# 生活協同組合コープぐんまの概要



設立	1956年4月23日
本部所在地	群馬県桐生市相生町1-111
理事長	中嶋 源治
専務理事	梅澤 義夫
環境管理責任者	小林 香
活動区域	群馬県全域
活動内容	①食品を中心に生活必需品の供給事業 ②共済事業、福祉事業、保険事業、ハウジング事業等生活総合事業 ③福祉たすけあい活動、環境活動、平和活動、文化活動等組合員活動
供給高	256億9千万円
出資金	43億2千万円
組合員数	17.7万人
職員数	正規職員 343人   パート職員 751人
事業所	店舗数 23店（中型・大型店 9店   ミニ店 14店） 共同購入センター数 9センター 物流センター   フィッシュセンター   ミートセンター   青果センター

年度	供給高(億円)	組合員(万人)	出資金(億円)
2003年度	256.9	17.7	43.29
2002年度	260.3	17.1	41.20
2001年度	265.5	16.5	38.81
2000年度	271.4	16.1	36.48
1999年度	266.4	15.3	33.57
1998年度	259.3	14.5	30.56
1997年度	256.0	13.8	27.95
1996年度	250.8	13.3	25.83



2004年の環境報告書発行にあたって一言ご挨拶を申し上げます。

コープぐんまの環境報告書も5回目の発行となり、組合員のみなさまには遅々たる歩みではあるものの着実に前進していることが確信頂けるものと思います。

2003年5月にISO14001を認証取得し、今年度は、店舗・共同購入センター・本部等でそれぞれの目標達成に向かって一步一步前進させ、その結果としてサーベイランス審査で、継続的改善が見られるとの評価「向上」を得る事が出来ました。

群馬県からは「県民エコDO」や「マイバッグ運動」等の活動が評価され、県地球温暖化防止活動推進委員を委嘱されました。また、リセロ宮子では「環境に優しい店舗」として群馬県から表彰されております。

今後も様々お気づきになる点が多々あるかと思えます。率直なご意見を事務局にお寄せいただきたいと思います。

地道な活動も大切にしつつ、たくさんの組合員さんと共に環境を守り、持続可能な社会をつくっていく所存ですのでご協力を宜しくお願い申し上げます。



2004年  
生活協同組合コープぐんま  
理事長 中嶋 源治

## コープぐんま環境方針

### 理念

私たちコープぐんまは、「未来を見つめて次の世代の利益を守る」という全地球的課題が、全ての組合員の「想い」であることを認識し、私たちの「活動」に環境保全の視点を取り入れます。

### 方針

コープぐんまは食料品を中心とした商品の供給、製造および共済や保険などのサービスを組合員に提供していることをふまえ、「環境に配慮した暮らし」と「持続可能な循環型社会の実現」を目指し、以下の環境活動をおこなっていきます。

事業活動を通じ、環境負荷を軽減する仕組みをつくり、定期的な見直しと継続的な改善によって、地球環境保全と汚染の予防につとめます。

環境保全に関する法規制およびコープぐんまが受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。

- ① 環境に配慮した商品づくり、商品普及をすすめます。
- ② 環境活動の大切さを認識する組合員を増やし、地域のパートナーシップを広げていきます。
- ③ 省エネルギー・省資源をすすめます。
- ④ 廃棄物の削減と再資源化をすすめます。
- ⑤ グリーン購入をすすめます。

環境方針を仕事に生かせる職員集団をつくるため、環境教育を計画的にすすめます。

～ この環境方針をコープぐんま内外に公表します。～

2002年9月9日制定  
2004年3月1日改訂

生活協同組合コープぐんま  
専務理事 梅澤 義夫

# 環境マネジメントシステム

## ISO14001 (環境) の認証を取得しました

- 2003年5月28日、コープぐんま全事業所の環境に配慮した取り組みがISO14001の規格に適合していると判断され、認証取得されました。県内食品流通業としては、初めての認証取得となります。今後このシステムを生かし、事業活動がもたらす環境への負荷をできるだけ軽減し、長年取り組んできたリサイクル活動、環境配慮商品の普及活動などとともに、さらに発展させた活動を行ってまいります。



03年度総代会での登録授与式

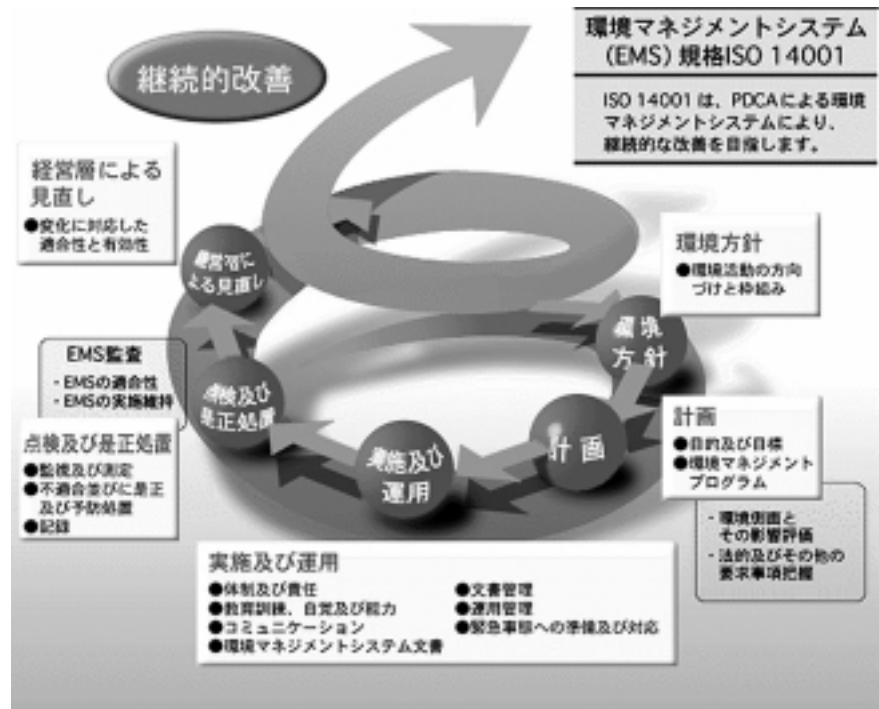


ISO14001登録証



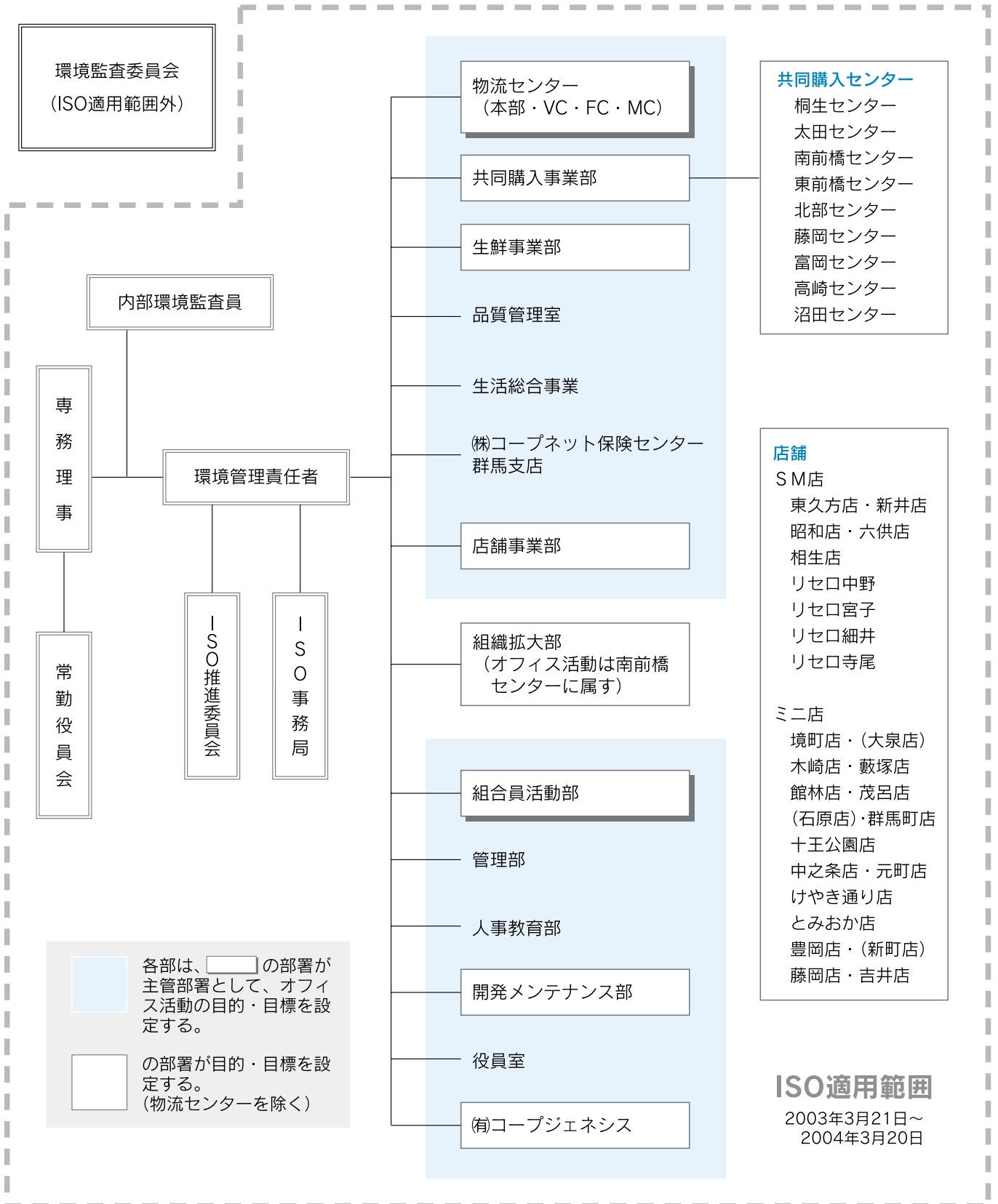
## ISO14001ってなあに？

ISO14001は、国際標準化機構 (International Organization for Standardization : ISO) が、1996年に発行した環境管理の仕組みに関する国際標準規格です。地球温暖化・オゾン層の破壊・酸性雨など、様々な地球環境問題が深刻化する中、環境保全型企業活動の一つの手段として、ISO14001を導入し「持続可能な経済社会システム」の構築に積極的に取り組んでいく企業が増加しています。



# 環境管理体制

2003年度は、環境マネジメントシステムを更に発展させるために、ISOの規格に沿って下記のように体制をとり、役割や責任を明確にし取り組みをすすめました。



# 店舗での取り組み

## リサイクル回収の取り組み

- 回収量・リサイクル量のお知らせを継続しておこないました。
- ミニ店舗のたまごパック回収を6月度より実施しました。
- 環境月間に併せてレジでの声掛けを行ないました。



全事業所のリサイクル量のお知らせ



群馬県の助成を受けて設置したミニ店のたまごパックの回収箱



環境月間の取り組み



店舗リサイクル回収箱

## レジ袋削減の取り組み

- マイバッグの利用普及に取り組みました。
- マイバッグ運動への呼びかけはリサイクルスタンプカードからポイント制へ変更する事で参加しやすくなるメリットを宣伝し参加組合員を増やしました（中型・大型店）。



マイバッグ持参運動の取り組み

## 環境配慮商品の利用を 高めます

- 6月の環境月間の際に、環境に配慮した商品のツールを一新し組合員にアピールしました。
- コープフェアの際は環境に配慮した商品のおすすめを強化しました。
- 環境に配慮した商品のセール時のアピールを強化しました。



環境配慮商品コーナー

## 電気使用量削減の 取り組み

- 開店時までフロアの unnecessary 照明を消灯しました。
- 無人時・無人室の消灯を徹底しました。
- ESCO等省エネシステムを導入（中型・大型・ミニ）しました。
- 新店舗（リセロ寺尾）には調光式照明を取り付けました。
- 新店舗（リセロ寺尾）にデシカント空調の設置をしました。



リセロ寺尾

※ESCO（エスコ）事業とは  
エスコ事業者から省エネルギーに関するサービスを受け、省エネルギーによるメリット（エネルギーコスト削減分）。

※デシカント空調とは  
乾燥剤すなわち吸湿剤を用いて冷却をおこなう空調。

# 共同購入での取り組み

## リサイクル回収を強めました

- チラシ回収袋を全組合員配布してリサイクル回収アップを訴えました。
- 組合員へのリサイクル回収の呼び掛けをセンターニュース・tokutokuぐんまで月1回案内を定例化しました。
- 組合員機関会議（コープ委員長会議・委員会）への回収呼び掛けをおこないました。

(12ページ参照)



センター分別回収

## 産業廃棄物・可燃ゴミ・不燃ゴミの分別と記録



センター分別回収

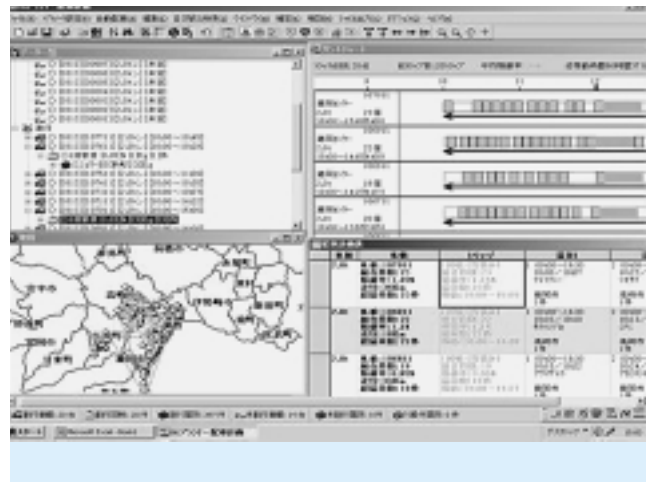
- ①産業廃棄物・可燃・不燃の分別徹底を継続しました。
- ②可燃・不燃物の量を把握しました（記録）。
- ③ドライアイス袋のリサイクルを開始しました。

## 車両燃料を削減しました

- 配車支援システムの有効活用によるコース効率アップ、各センターでの地図確認、メンテナンスができる環境作りをしました。
- キーチェーンの仕様を見直して実施率を継続しました。
- 引き続きエコドライブに心がけました。
- タコグラフの研究に取りかかりました。
- 新沼田センターの配置による配送距離の短縮（北部・高崎C）を6月度より実施しました。

(17ページ参照)

## 配車支援システム



新沼田センター

# 組合員の自主的な取り組み

## 水辺の体験



小平河川公園での水辺の体験

- 03年7月26日藤岡地区主催で三波川小平河川公園にて実施17名参加。前日まで激しい雨だったので実施が危ぶまれたが当日は晴れました。雨の影響で水かさが増し、流れも速かったので川の前方にも監視員を配置しました。講師の先生の指導も全員が話を良く聞き家族で水生生物の採取に取り組み学習を楽しみました。
- 03年8月2日安中地区主催で中木川裏妙義自然公園にて実施24名参加。当日は良く晴れて暑いほどでした。川がきれいなので採取は困難かと思われましたが、魚を含めかなり採取しました。
- 両地区とも上流のためか採取された指標生物からきれいな水と判断されました。また両地区でミヤマカワトンボが確認されて水辺の環境全体がきれいであることが分かりました。親子で身近な自然環境を楽しく学習しました。

## 測定活動

- 大気測定・水質測定は、私たちの生活と深く結びついている、きれいな川、きれいな空気の自然環境を守り発展させる活動の一つとして、大気測定・水質測定を地区主催の調査活動として実施しました。初めて参加した組合員は、二酸化窒素でカプセルの溶液が赤く変化するのを見て驚くなど、身近な空気を知る事の大切さ、気づきの活動が定着しています。



地区でのNO<sub>2</sub>大気検出測定



養成講座・玉原高原ブナの森

## ネイチャーインタープリター養成講座

- コープぐんまの自然体験活動を推し進めるスタッフを育てます。自然の大切さを知る自然観察会のリーダーを多く育て、各地域で自然観察会など自然と向き合う企画を自主開催できるようにする事を目的とします。従来の自然体験活動にとらわれない、地区主催企画を修了生の参加で数多く企画する事を目標としています。

ネイチャーインタープリターとは、「自然のいろんなコトや、モノを分かりやすく伝える人」という意味です。

## 環境学習紙すき講座

- 身近に出来る環境活動として、牛乳パックによる紙漉き、はがき・しおり作り体験講座をおこないました。紙を作ることを「体験」して、楽しみながら、原料に牛乳パックが使えること知ってもらい「牛乳パックが貴重な資源」であることに学び、牛乳パックによる紙漉き体験を通し、リサイクルの大切さを経験しました。



環境学習紙すき講座

## 夏の子供環境学習



腹話術一チーちゃん



群馬県所有車エコムーブ号

- 笛木さんによる「腹話術一チーちゃんの環境学習」と店舗探検及びエコムーブ号企画を7月27日実施しました。この企画は、周辺の子供を中心に店舗の環境活動を学ぶ事を目的でおこないました。

# 地域と協力した活動と社会貢献



## 群馬県マイバッグ キャンペーンに参加

- 2003年9月から11月末まで群馬県の呼びかけで、家庭から出るゴミの減量と省資源を目的に、消費者・事業者・行政が協力して買い物袋を持参しレジ袋を受け取らずに買い物をする運動を展開しています。2003年10月からは毎月1日を「マイバッグの日」として暮らしの中に定着させる運動を展開しています。

## 群馬県環境フェス ティバルに参加

- 2003年9月23日「第5回ぐんま環境フェスティバル」が開催され、コープぐんまは環境配慮商品の展示と牛乳パックによる紙すき体験（はがき・しおり）及び環境グループの活動発表を行いました。紙すき体験には多くの方が参加して真剣にはがきを作っていました。



## 人と地球にやさしい 大型店舗受賞

- コープぐんまりセロ宮子（伊勢崎市）は、2004年4月23日群馬県庁舎審議会室にて、群馬県の小寺知事より、人と地球にやさしい大型店表彰を受賞しました。受賞理由は、人と地球にやさしい店舗づくりに積極的に努め、地域の生活環境の保持向上に寄与した事です。リセロ宮子の受賞はコープぐんま全事業所ISO14001（環境）認証取得をし、その全事業所を代表しての受賞です。





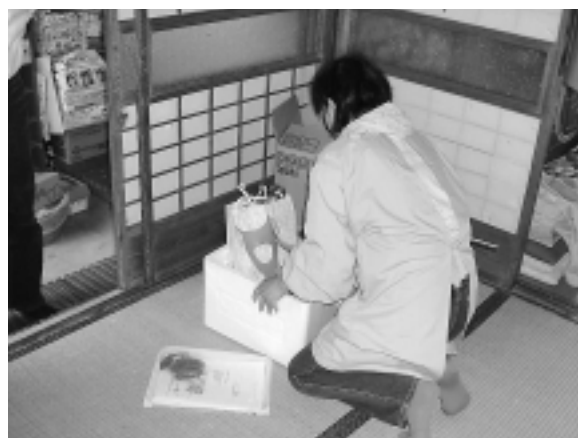
ワークショップひまわりでの寄贈式

## 緑の資金（牛乳パック売却益）を活用し、トイレットペーパー3000ロールを10団体に寄贈

- コープぐんまでは牛乳パックのリサイクル活動で得られた売却益（緑の資金）を活用して、10月に組合員さんから推薦された10団体へコアノンロールを寄贈させて頂きました。

## 「くらしのたすけあいの会」の活動

- 普段の生活のなかの「こまったなー、ちょっと手助けがあれば」を組合員同士がお互いに助け合えたら、そんな願いから生まれたくらしのたすけあいの会は、人と人のつながり、心のふれあい、思いやりを大切にする生協の相互扶助の理念に基づき、地区ごとに有償のボランティア活動を行っています。援助内容は、掃除、買い物、食事づくり、話し相手等の家事援助です。群馬県内全域13地区で活動を行っています。



桐生地区援助活動



本部での録音風景

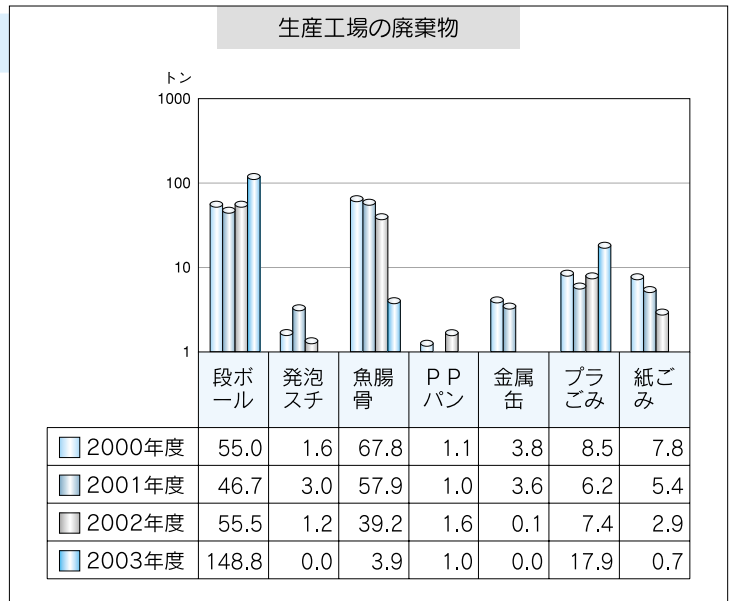
## リーディングサービス「声の商品案内」活動

- 組合員の朗読ボランティアさんによる共同購入・個配のカタログ「GOODS NEWS」の録音テープを無料で貸し出し、目の不自由な組合員さんや高齢の組合員さんに大変喜ばれています。商品案内の他に生協からのお知らせとして組合員情報誌からの情報も抜粋してご案内しています。

## 生産工場のリサイクル

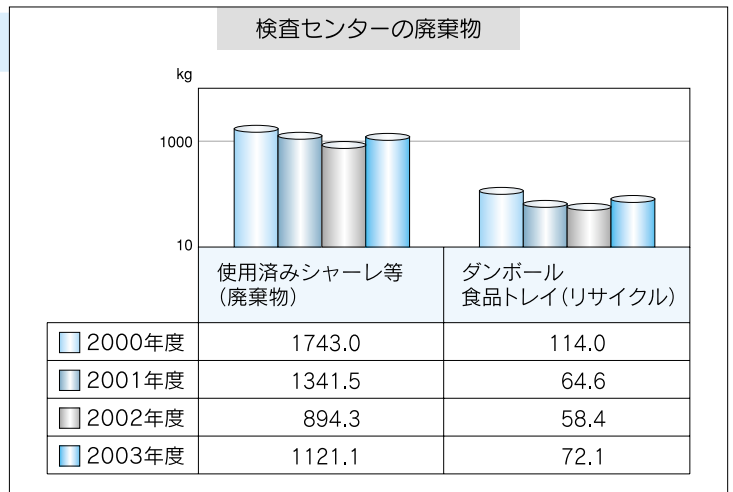
生産工場（フィッシュセンター・ミートセンター）のリサイクル率は、86.5%でした。トータル排出量は前年の138.3%で削減できませんでした。

生産工場からの排出物は、業者に収集運搬を委託し適正処理と再資源化の促進を図っています。コープネットとの事業連帯がすすみ生産体制が変更になった結果、肉筋や肉片等食品残さ、発泡スチロール、金属缶が大幅に減りました。



## 検査センターのリサイクル

検査センターの廃棄物は下期より検体数が増えたため前年の125%増加し、削減できませんでした。器具のシャーレやポリ袋は非塩ビのポリスチレン、ポリプロピレン製のプラスチックを使用しています。微生物検査のみをおこなっていますので特別管理産業廃棄物の排出はありません。また、PRTR（環境汚染物質排出・移動登録）法に対応する薬品等も一切ありません。

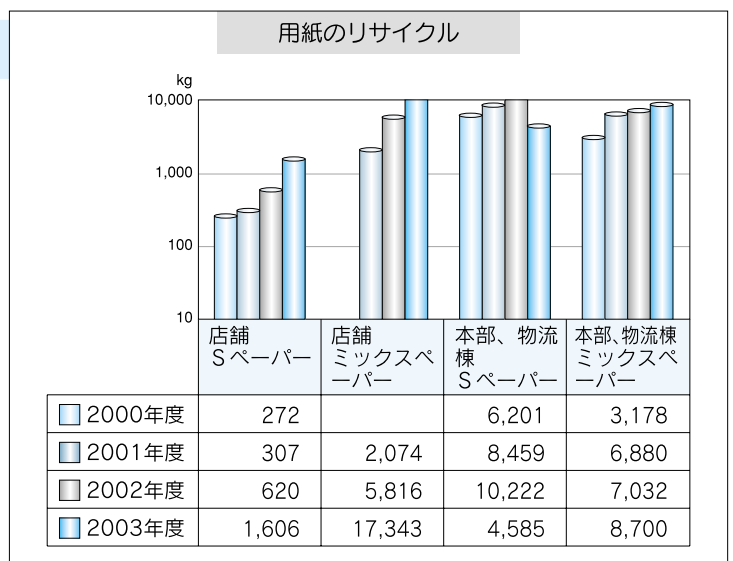


## オフィス用紙リサイクル

Sペーパーは、帳票用紙、コピー印刷用紙が主な対象です。ミックスペーパーは、チラシ、小冊子や色紙です。

店舗の用紙の排出量は、200%以上の伸長、本部、物流棟は、102~120%の伸長です。ミックスペーパーは、トイレトペーパーのコアノンロールに再生されています。

Sペーパーは、“シークレット”“セキュリティ”の頭文字Sの造語です。組合員さんの氏名、住所、電話番号、出資金状況、商品原価が記載されている用紙が対象です。



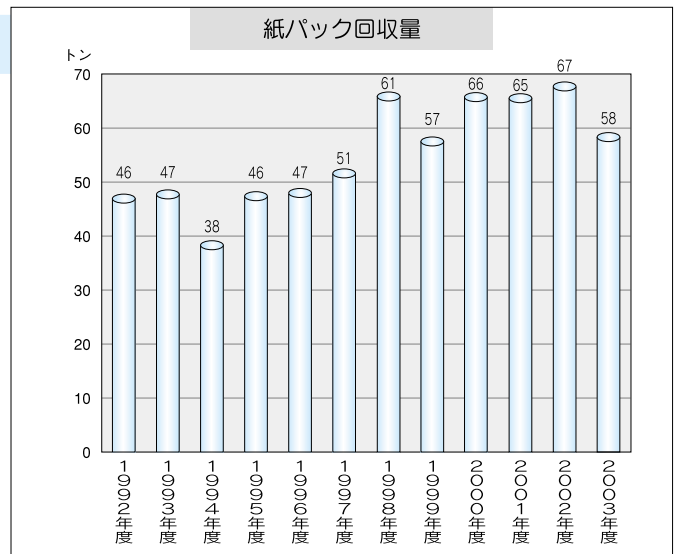
## 牛乳パック

2003年度、1年間で193万枚の紙パックの回収ができました。

製造原料のうち紙パックを30%使用したコアノンロールで換算しますと567,000ロール再生されたこととなります。

店舗回収は33.5ト、共同購入回収分は24.6トでした。前年と比べ総量で8.9ト減少しました。自治体やスーパー店頭等での地域での回収がより活発になっており、店舗分回収量が14.1ト減少、共同購入は5.1ト増加しました。

コープ以外、地域的にも提出する機会や回収場所が増え牛乳パックのリサイクルの輪が広がっています。牛乳パックの回収率は店舗58%共同購入25%合計回収率は37%でした。



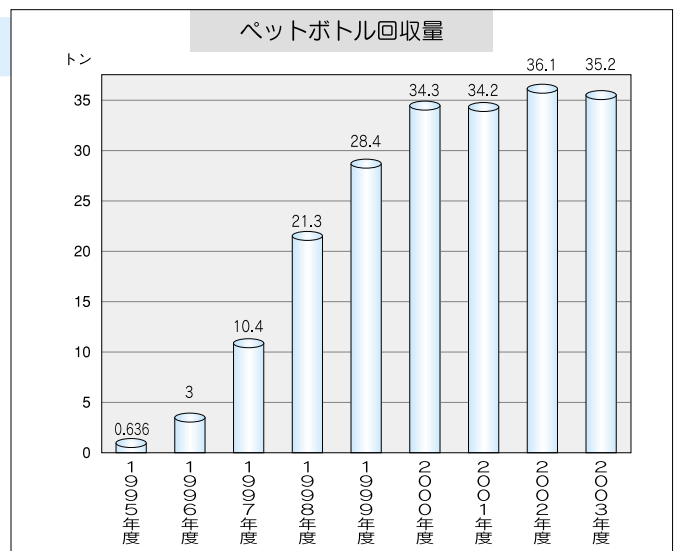
## ペットボトル

2003年度は、1年間で66万6,000本のペットボトルが回収されました。

店舗の昨年比は2.6ト減少し、共同購入は1.8ト増加しました。

館林店・高崎市のリセロ寺尾・石原店・豊岡店・けやき通り店はそれぞれの市の資源回収拠点として連携しています。その店舗分回収したペットボトルは市が収集しています。

コープで回収しているペットボトルは、組合員さんがきれいに洗って、回収品として最上級です。



## 食品トレイ

2003年度、年間で約235万枚のトレイの回収ができました。

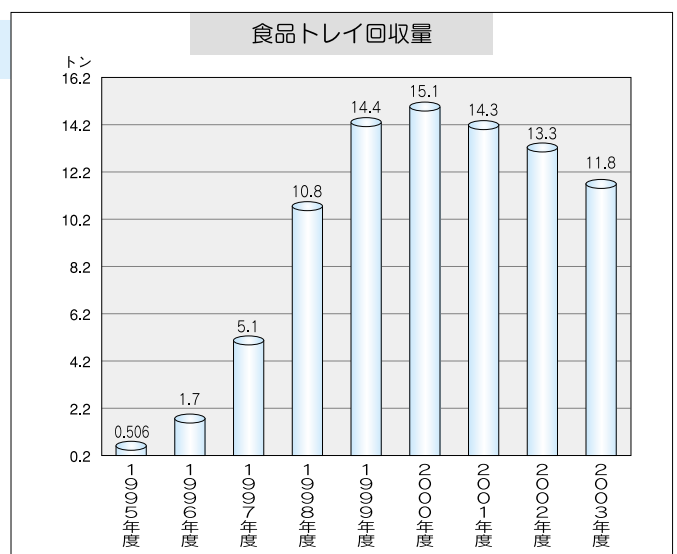
店舗での回収は224万枚、共同購入では11万枚の回収が実現しました。

共同購入のお肉やお魚の商品容器は、ポリ袋が中心であるために回収量は554kgでした。

地域的に提出する機会や回収場所が増えた結果、店頭での回収量が連続減少しました。

店舗業態では商品づくりや特性上から最少限カラートレイを使用しています。

店舗のみ98年下期からカラートレイの回収も開始しました。

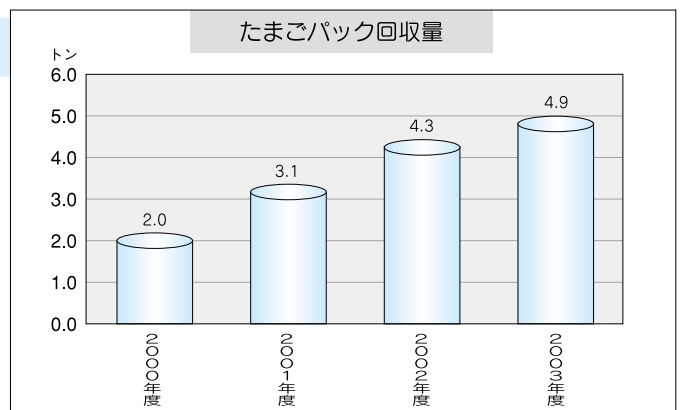


## たまごパック

2000年度、4月より共同購入が、2001年4月より中大型店でコープたまごパックの回収をはじめました。1年間で4,987kg・約37万パックの回収が実現しました。2003年度よりミニ全店でコープたまごパックの回収が始まりました。

たまごパックの回収率は店舗21%、共同購入23%合計回収率は22%でした。

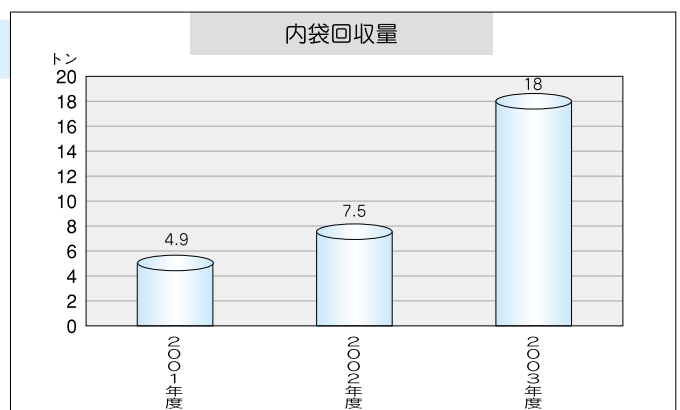
店舗での回収の中にはポリスチレン製（乳白色）や塩ビ製（若干青みがかかる）の混入が目立ちます。



## 内袋の回収

2000年度、4月より共同購入がシッパーの内袋の回収をはじめました。

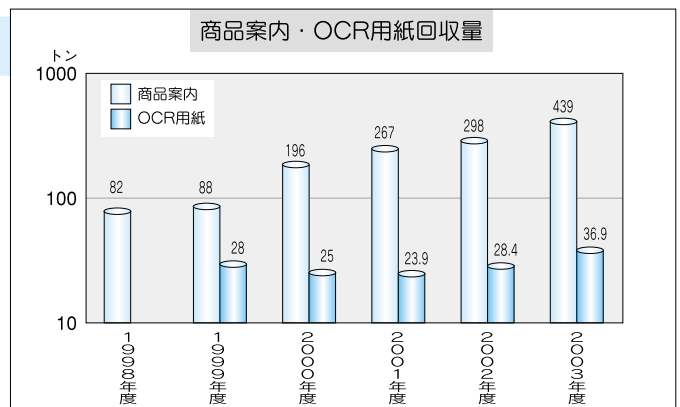
2003年度は18,036kg・約154万枚の回収が実現しました。この内袋の材質はポリエチレン（PE）です。



## 商品案内

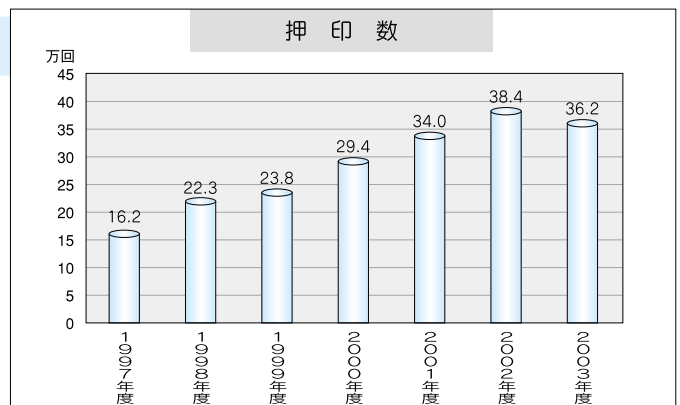
2000年度から回収品目がペットボトル、トレイ、たまごパック、内袋が新たに加わりその相乗効果として飛躍的に商品案内の回収量が伸長しました。

2003年度は、175,000部の商品案内を回収できました。OCR用紙と商品案内のチラシもコープトイレットペーパーコアノンロールの30%以上牛乳パック使用した残りの70%の古紙の部分に再生されています。リサイクルルートは、牛乳パックと同様です。

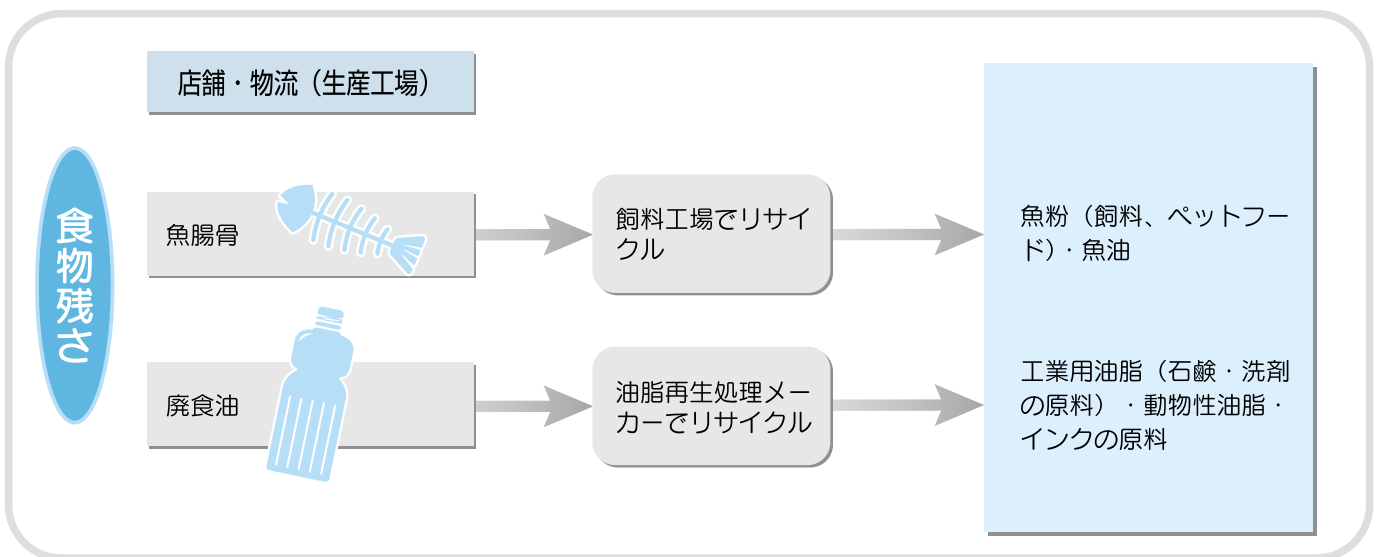
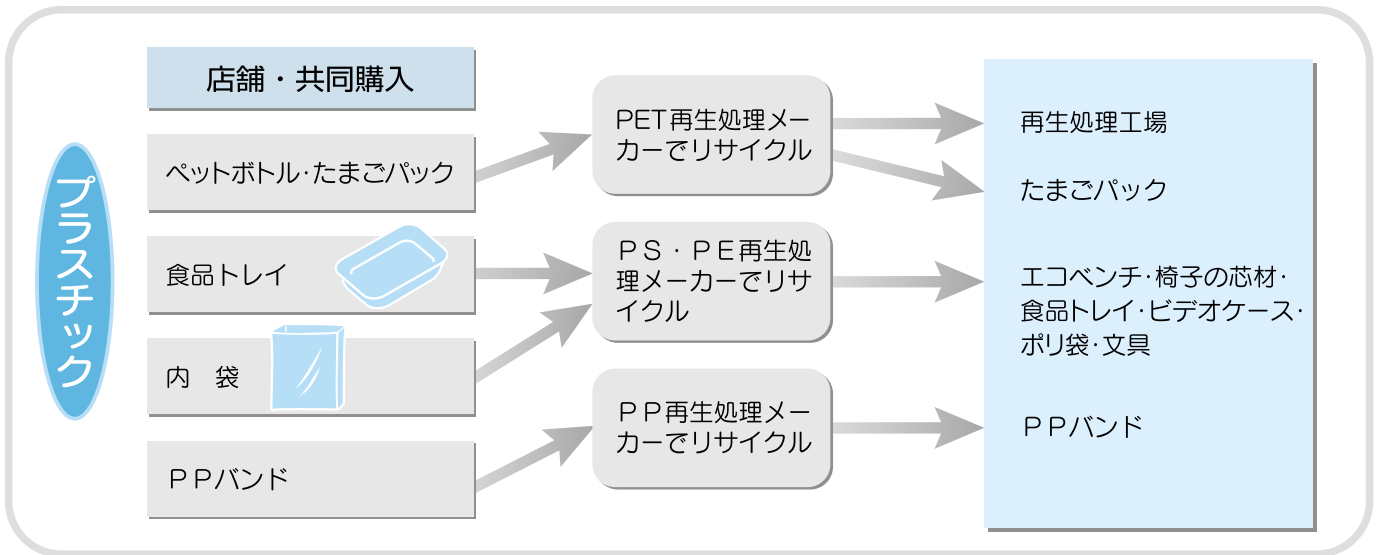
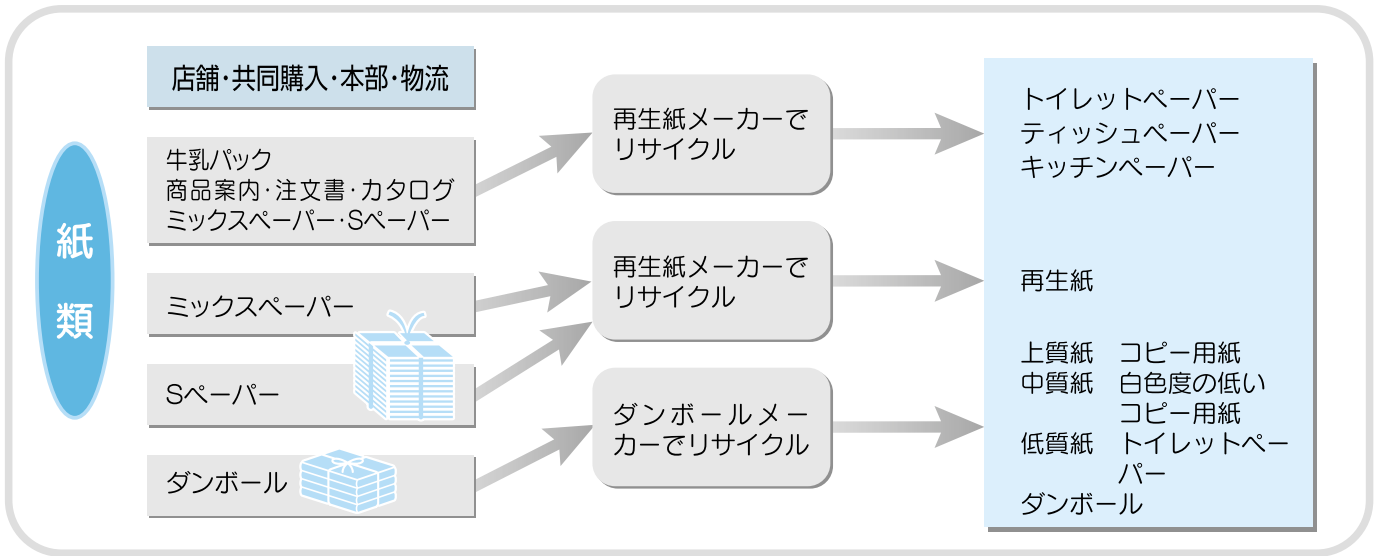


## リサイクルスタンプ

お買い物袋を持参し、レジ袋をご辞退された組合員さんにスタンプを押印する取り組みで中型・大型店でのみでおこなわれています。ここでは、スタンプを1つ押すと1枚節約できたとしています。大型店を中心とした群馬県マイバッグキャンペーンの取り組みで1店舗、1日当たり123枚のレジ袋の削減が実現しました。年度の途中でポイントカードに制度変更がありましたので、スタンプカードは下期よりポイントカードに移行しています。



# リサイクルの流れ



# 省エネ・省資源への取り組み

## エネルギー使用量

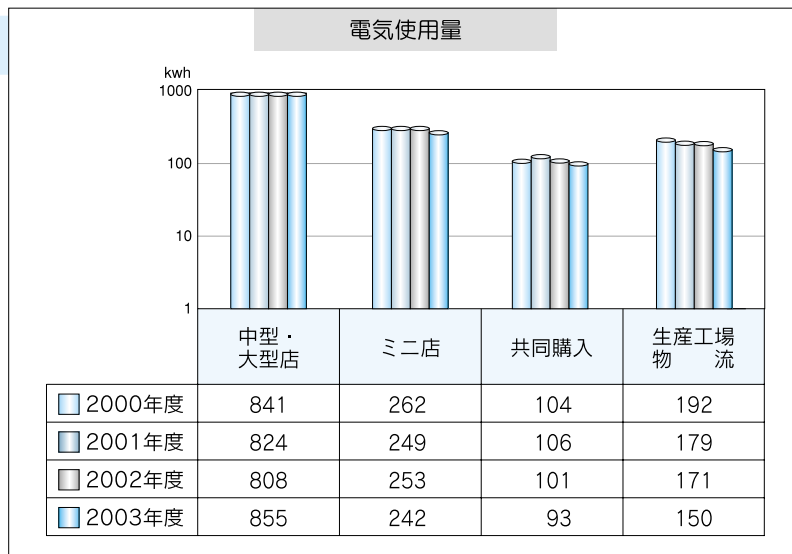
売り場面積 中型店は120坪～400坪 大型店は450坪 ミニ店は50坪

### 電気

電気総使用量は、前年比0.1%減の1388万kwhでした。

事業所では、部分点灯の実施や空調温度も暖房温度は「20℃以下、冷房温度は、28℃以上」の統一基準を設けて運用しています。すべての電源スイッチ付近に「節電や消灯」の注意書きを貼っています。

1坪当たりでは、中大型店の平均は156.4kwh、ミニ店の平均は166.4kwh、共同購入センターの平均は35.4kwhでした。



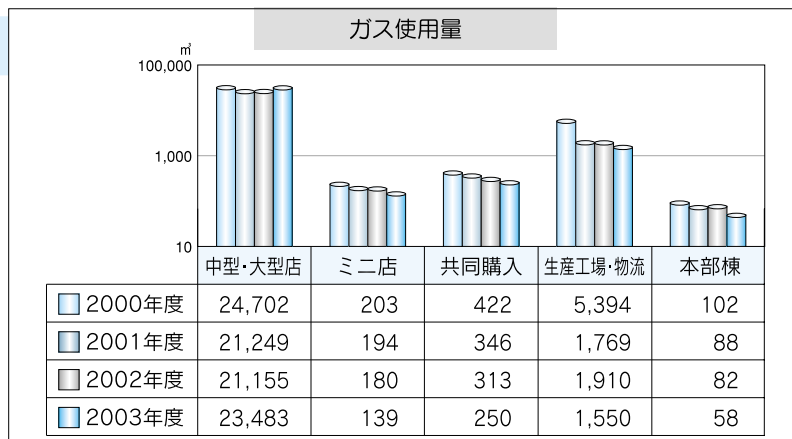
### ガス

ガス総使用量は25,480m<sup>3</sup>でした。増加しました。

その要因は、新店舗リセロ寺尾の使用量が12月より増えたためです。

ガスは、全体の30～50%を占める細井店の温度調整を実施し、冷夏だった事もあり達成できた。

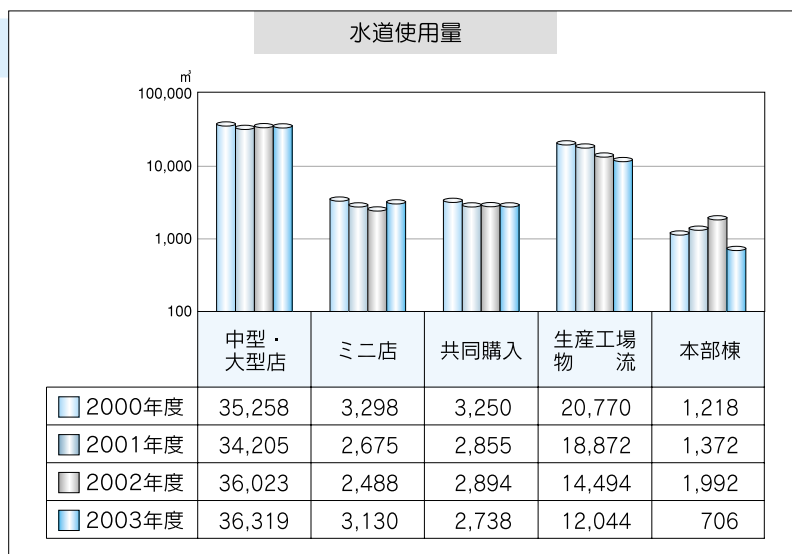
リセロ寺尾の使用量が計画を大幅に上回り、月度では未達成。



### 水道

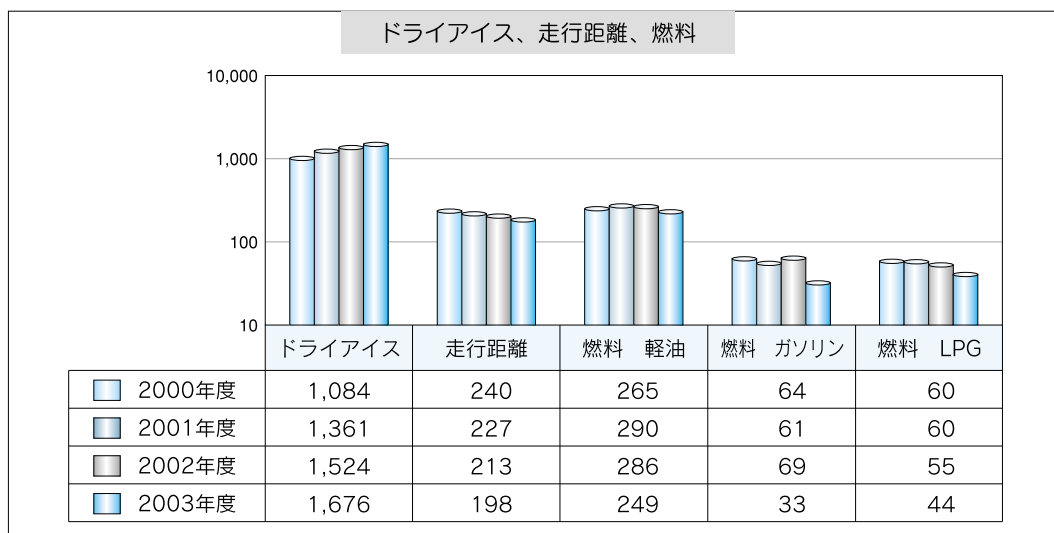
水道総使用量は前年5%減の54,937m<sup>3</sup>でした。

主に生産工場・物流棟でネットへの生産移行などもあり大幅に削減しています。



## 共同購入使用量

### ドライアイス、走行距離、燃料

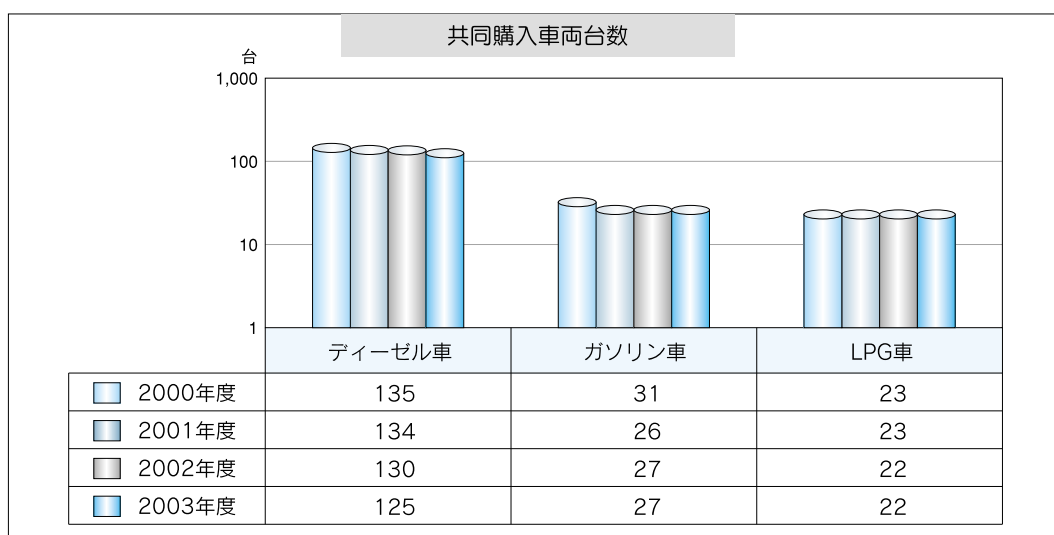


商品管理向上のためドライアイスの量が増加しました。

配車管理システムによるコース編成等により走行距離は前年の93%となりました。

車の総台数は、5台減でその内訳は、うちディーゼル車は5台減で、ガソリン車、LPG車は変更ありませんでした。燃料では、ガソリン・軽油・LPG全ての項目で減少しました。

### 共同購入車両台数



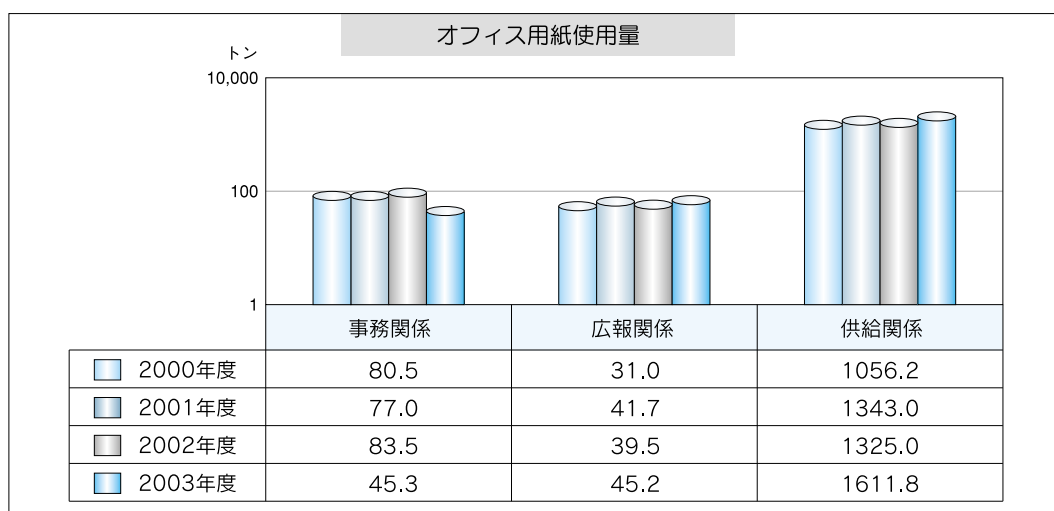
非ディーゼル車比率はディーゼル車が5台減のため0.8ポイント上がって28.1%になりました。

LPG（液化石油ガス）は黒煙や粒子状物質（PM）の発生はありません。ぜん息の原因と言われている窒素酸化物（NOx）の発生もディーゼルと比べると少ないと言われています。

LPG専用のスタンドが少ない、車種が少ない、燃費が悪いなど問題点もあり、切り替えが進まない要因となっています。

## オフィス用紙使用量

### オフィス用紙使用量



“事務関係”では、コンピューター用紙が電子化され大幅に削減されました。

“広報関係”は、機関紙“プチほっと”が創刊され、組合員活動系の用紙の削減にはなったが、トータルで114%増加しました。

“供給関係”は、影響力大の商品案内の発行量が大幅に増えたため、セールチラシの量が反映されて122%アップになりました。

総合計でも前年の118%1702トでした。

今年度の商品案内の回収量は、439トあり、回収率は昨年の25%を越え28%に達しました。

### 1万人当たりコピー印刷用紙使用量

組合員1万人当たり紙（コピー・印刷）削減の取り組み

	計 画	実 績	紙使用量計画比
全 体 (kg/万人)	3343	2607	78.0
共同購入 (kg/万人)	2617	1851	70.7
物流棟 (カウント/万人)	72155	80924	112.2
本部棟 (カウント/万人)	35423	30521	86.2
拡大部 (枚/万人)	3523	4648	131.9

組合員1万人当たり3343kg/万人の目標で、2607kg/万人計画比78%で、計画内でした。

組織拡大部は新店舗リセロ寺尾拡大統一行動、沼田新センター拡大支援行動でチラシの枚数が増えました。

引き続き用紙の裏面使用やイージーミスをなくして取り組みを強化しなければなりません。

# 環境法規制等の遵守状況

コープぐんまでは、消防法、水質汚濁防止法、浄化槽法、改正リサイクル法、廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法等15の法令の規制を受けています。これらの法令をすべて遵守しています。

法律・条例・協定	法規制の内容および条項	対象部署・施設
消 防 法	防火管理者の選任・解任（H8）・届出	各事業所
	指定可燃物の管理（H9の3）発泡包材樹脂：20㎡以上貯蔵	全共同購入センター
	指定数量以上の危険物の貯蔵と取扱に関する規制（H10以下） 貯蔵所等の設置の際の市町村長等の許可（H11） 灯油タンク・ローリーでの危険物の取扱（H10、H14の3の2） 物流センター指定数量以上の危険物貯蔵所等以外での取扱の禁止 危険物取扱者以外の取扱は危険物取扱者（甲・乙）が立ち会う 地下タンク・移動タンクの定期点検の実施、点検記録の作成・保存	物流センター 重油3万ℓタンク
水質汚濁防止法 群馬県の生活環境を保全する 条例	貯油施設事故時の緊急措置義務（H14の2） 貯油施設から油を含む水が公用水域に排出又は地下浸透により、生活環境に関わる被害が生ずるおそれのある場合、応急措置及び知事に通報	相生店・リセロ宮子・リセロ細井・リセロ中野 物流センター
浄化槽法	対象になる施設の管理（H5～）・届出・法定の定期点検実施（H11）・保守点検記録の3年間保存（H8）	浄化槽を設置している事業所
資源の有効な利用の促進に関する法律 （改正リサイクル法）	分別回収のための表示義務（H24） 2003年4月1日より、H25の罰則適用	PB商品のほか、レジ袋、紙袋、包装紙も該当する。
	分別回収のための表示義務（H24） 2003年4月1日より、H25の罰則適用	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 （廃掃法）	一般廃棄物の委託業者との契約（H7） ・収集運搬・処理業者は市町村長の許可が必要 産業廃棄物の保管（H12.2）（産業廃棄物保管基準） ・保管施設で行ない飛散、流出、地下浸透しない措置 ・周囲に囲いを設け、保管場所であることの表示・ねずみ、蚊、はえその他の害虫が発生しないこと ・汚水が生じる場合は、排水設備等・廃棄物の荷重が直接かかる場合、構造耐力安全な囲い	一般廃棄物  発生する廃棄物 ・一般廃棄物 ・産業廃棄物
	産業廃棄物の委託基準（H12.3） ・知事の許可を受けた収集運搬業者、又は処分業者に委託する ・契約はそれぞれ書面にて行う	発生する廃棄物 ・一般廃棄物 ・産業廃棄物
	産業廃棄物の管理（H12の3） ・排出された廃棄物については、マニフェストで管理する ・処理状況の報告・マニフェストに関する報告を知事に提出・マニフェスト（A票B2票D票E票）は5年間保存	発生する廃棄物 ・一般廃棄物 ・産業廃棄物
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律（容器包装リサイクル法）	特定容器利用事業者（H2.11） ・再商品義務量の再商品化	PB商品
特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	使用済み製品の引き取り義務（H9） ・再商品義務量の再商品化 管理表の発行・管理義務（H43） 回収した商品の引き渡し義務（H10） 回収費用の事前公表義務（H13） 自己所有対象家電の廃棄処理・電気冷蔵庫の引き取り義務の追加	旧相生店 全事業所
食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律（食品リサイクル法）	事業者の義務（H4）	店舗 物流センター 共同購入センター
土壌汚染対策法	土壌汚染の可能性のある土地について、状況調査と報告義務	土壌汚染土地
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	対象建設工事の届出（H10） 発注者として再資源化費用の負担、再資源建設資材の利用促進（H6）	設計及び建設・解体
大規模小売店舗立地法（大店立地法）	大規模小売店舗の新設の届出（H5）	新規店舗
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）	第一種特定製品（業務用エアコン、冷蔵機器及び冷凍機器）廃棄者の義務（特定製品の引渡とフロン類の回収等費用負担）（H5） 第二種特定製品（自動車搭載エアコン）廃棄者と自動車ユーザーの義務（特定製品の引渡とフロン類の回収等費用負担）（H5）	全事業所
農薬取締法	販売事業所ごとに届け出が必要（第8条） 販売の業務を行う事業所ごとに帳簿の備えが必要。（第10条）	店舗・共同購入
肥料取締法	販売事業所ごとに届け出が必要（第23条） 販売の業務を行う事業所ごとに帳簿の備えが必要。（第27条） （ただし事業所別管理ができていれば本部での一括管理でもよい。）	店舗・共同購入
桐生市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例（残土条例）	残土処理の事前届出義務	

# 環境情報受付状況・ 事故緊急事態への対応状況

## 環境情報受付状況

2003年度の環境情報は、85件でした。すべて、組合員さんからの発信で外部からのご意見やクレームはありませんでした。

ごみ問題やリサイクルについてのご意見を一番多くいただきました。ついで商品について、マイバッグについてのご意見の順でした。

85件のうち18件21%がクレームのご意見でした。

	環境に対する意見・問い合わせの総数	85	
1	環境問題全般	0	
2	ごみ分別・リサイクルなど	34	40%
3	マイバッグ運動	9	11%
4	商品の環境配慮	21	25%
5	化学物質（ダイオキシン・環境ホルモンなど）	2	2%
6	自然環境（森林・大気・水・土壌など）	1	1%
7	資源・エネルギー	1	1%
8	その他	17	20%
うち クレーム		18	21%

## 事故・緊急事態が発生した場合の対応結果

想定される事故・緊急事態を下記に特定し、発生予防および発生してしまった際の対応を手順によって訓練や日常点検をおこないながら管理していましたが、6件の発生がありました。

想定される事故・ 緊急事態	発生事業所	発生の 有無
冷凍、冷蔵庫の故障、 停電による商品廃棄	全店舗・全共同購入センター	有
機器破損、作業の誤り などによる食用油の流出	中大型店の各店舗	無
機器破損、作業の誤り などによる重油の流出	物流センター	無

コンプレッサーの破損や冷却パイプの破損、配線不良による漏電、雷によるショート、フィルターの目詰まりなどにより冷蔵・冷凍庫の故障が10件発生。

うち、商品廃棄につながったのは6件でした。

対策として、定期的なクレンジングを含むメンテナンスの実施、温度計からの温度管理、老朽ケースの入れ替え、制御盤の管理等で再発防止に努めました。

# 主な環境情報受付内容と回答

## 主な受付内容と回答

受付No	受所属	発区分	受付内容	回答
6272	南前橋センター (4月17日)	組合員	4月2回小粒いちご2パック498円を4組注文しましたが1パックづつダンボール箱に入っていました。おかげで不用なものがこんなに沢山、せめて2パックで1包みにしてもっと簡単に包んでください。	いつも生協商品をご利用いただきまことにありがとうございます。この度は、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんでした。ご指摘の件については、組合員さんのご意見としてコープネット商品企画担当に申し伝える様致します。今後に付きましては、どのような形態が良いか配達の方法（農産セットから別積みの配送にして、箱に入れないでお届け）含め検討していきたいと思えます。ゴミの削減について今回のいちごの箱はゴミの発生につながってしまいますが、以下の内容で青果物全体のゴミを減らす活動を実施しています。通常の青果物の流通は、ダンボールが中心ですが、生協は、通い箱（コンテナ）を積極的に推進しています。いちごの配送形態は、パックに20PK入りのダンボールで生協のセットセンターに入荷しますが、これも通いコンテナにできるかどうか合わせて論議してまいります。今後とも生協の商品をご愛顧賜るよう宜しくお願い申し上げます。
6550	組合員活動部 (6月13日)	組合員	個人明細（共同購入など）が大きすぎて保管が大変でコストも削減に反しているのではないのでしょうか。	いつも生協商品をご利用いただきまことにありがとうございます。ご指摘の件については、さいたまコープと紙のサイズを統一する事によって紙代の単価を下げる事ができました。また、変更にあたっては、サイズが大きくなることにより今まで不可能であったポイントの記載が出来るようになりました。なお、この変更は、地区の組合員さんの代表である改革委員会に提案し了承を頂いております。今後とも生協の商品をご愛顧賜るよう宜しくお願い申し上げます。
6650	茂呂店 (6月25日)	組合員	コープキッチンマイルドの詰め替え大パック今は、扱わないようですがミニコープには置けませんか？	店舗をご利用いただき、ありがとうございます。ご要望ですので、今回は試験的に取り扱いさせていただきます。ぜひ、ご利用頂きますようお願い致します。ご存知のように、ミニコープの場合限られた売場面積です。このため、多くの方々にご利用いただける商品に限定して品揃えいたしております。今回取り扱いさせていただきますが、しばらく商品の動きを見させて頂き、多くの方々にご利用いただけない場合につきましては、取り扱いを中止させていただく場合もございます。その際は、ご理解の程お願い致します。今後とも変わらぬご利用をお願い致します。
7443	リセロ寺尾 (1月5日)	組合員	レジ袋を持参して買い物をするのですが、レジ担当の方にその旨を伝えるタイミングがずれるとお買い物袋持参ポイントをつけないままカードの処理が終わってしまい2度手間になってしまいます。またうっかりしているとレジ袋を頂いてしまったりもします。他のスーパーで実施しているような「レジ袋いりません」カードをレジ付近に置いていただけるとスムーズにいくかと思うのですが	ご意見ありがとうございました。中型全店に「レジ袋いりませんカード」を配置しておりますが、リセロ寺尾への配置は済みでありませんでした。申し訳ございませんでした。至急設置致します。

# 2003年度 ISO目標のまとめ

## 2003年度 ISO目標のまとめ

方針	目標項目	目標値	実績	累計率	評価	コメント
環境に配慮した商品作りと普及	環境に配慮した農産品の普及拡大	41.0%	42.35%	103.3%	○	7月度以降の目標設定を産直金額目標から、地場野菜を除いた産直比率の設定に変更し、計画にそって産直品目や産地の宣伝強化を進めて、また産直産地の天候も比較的安定して出荷も順調だったことから、年間でも103.3%の計画達成した。(42.35%)
	環境配慮商品の普及	362,215点	464,476点	128.2%	○	アイテム数が増えたこともあり、全店前年伸張し、全体で128.2%と達成できた。
組合員と環境に配慮したくらし方を学習	大気汚染測定	280	214	76.4%	×	大気汚染測定は、新タイプカプセルへの変更に伴い、従来の一斉測定はやめ、地区での自主活動に変更しました。結果目標には届かなかった。
	紙すき体験	60	221	368.3%	○	コープ委員会で子供向けの企画を設定したり、学童クラブで企画したり、ポリエチレンが貼ってあるなどの学習にもなり楽しい企画と評判を得た。8地区221名の参加。
	インタープリター養成講座	10	13	130.0%	○	今年度初の試みである組合員の自主的な活動の自然観察会を地域でもっと広げる目的で「自然観察のリーダー・緑の案内人」インタープリターを養成する企画おこなった。
	水質測定	150	39	26.0%	×	水質は、コープ委員会の取り組みが弱く21委員会135セットから5委員会の39セットに留まりました夏休み企画を強調しすぎて、動員敵取り組みに欠けていた。
省エネルギー・省資源	車両燃料の削減	387,695ℓ	339,754ℓ	87.6%	○	年間合計では北部Cを除き、全センターで計画達成となりました。沼田C開設に伴い北部C、高崎Cと調整しての計画を立てましたが北部Cのみ計画未達成が続いてしまいました。3センタートータルでは計画達成となっている。
	電気使用量の削減	1,497,837	1,400,765 kwh/千坪	93.5%	○	冷夏の影響が大きいですが、エスコシステム導入や事業所閉鎖や作業の見直し等がより効果を上げた。
	ガス使用量の削減	5,352	4,905 m³/千坪	91.6%	○	リセロ細井が温度調整を実施し、冷夏だったこともあり全体で91.7%と達成できた。(他店は量が少ないため影響少)
	コピー・印刷用紙の削減	3,343	2,607 kg/万人	78.0%	○	物流棟(生総部)と組織拡大部では、事業遂行上の拡大使用のため未達だったが、全体では(kg)換算では、達成できた。
	レジ袋の削減	14,376	14,327 枚/千人	99.7%	○	カード変更に合わせマイバック持参の場合ポイントが付与されるように変更し、店内放送等のお知らせも強化され全体で達成できた。
廃棄物の削減、再資源化	リサイクル回収量の拡大	535,100	707,168kg	132.2%	○	競合店の出店や客数減の影響で店舗は、93.7%と未達。共同購入ではお知らせや呼び掛けの結果、全体では達成できた。
	廃棄ロス高の把握		115,329 千円		○	廃棄率(SM店1.2%、ミニ店1.1%)は毎月同じような実績で改善されず04年度の課題。
	ゴミ排出袋数の把握		124,158kg 78,693袋		○	新年度は、いかに、ミックスペーパーとしてリサイクルできるかがポイントです。6月には乾電池を7kg排出。
グリーン購入	グリーン購入拡大	15アイテム	23アイテム	153.3%	○	新年度は、文具やファイルなどの商品を指定して購入していくしくみづくりが課題。
地域の環境ネットワーク	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> 県民エコDO	470	292枚	62.1%	×	11月7日に群馬県よりコツコツ宣言のステップアップ版として「ゆうまちゃんの県民エコDO!」の提案を受け、組合員さんに700枚、職員パート職員に975枚、計1,675枚省エネの取り組みのワークシートを配布したが、目標の470枚には届かず292枚の投函申告数だった。一般の部ではコープくんまの投函数77%のシェア占め貢献が出来た。
	マイバッグキャンペーン	7,000	9,081枚	129.7%	○	組合員さんのお知らせ活動とレジでの取り組みによりマイバッグキャンペーンの最終結果は、9,081枚の回収で計画目標を達成することができた。
	グリーンコンシューマー群馬ネット		参加		○	7月11日に第1回幹事会が開催され、マイバッグキャンペーンの推進や啓発について・回収ボックス設置推進について協議した。
	環境お知らせ活動		参加		○	環境報告書は、総代さん、マスコミ、町村役場、他団体に配布し、県、事業所管轄市町役場合わせて20行政には、組合員さんと同行訪問をおこなった。事業所がない市町村には、郵送した。「ほっと」へ掲載は、ISO14001認証取得を記載しアピールをおこなった。
	学習会・講演会	4回開催	3回開催	75.0%	×	7月27日に店舗探検とエコープ号を中心とし、リサイクルマークの学習会をおこなった。(17名参加)9月1日に県地域婦人団体連合会のメンバー22名の方に「マイバッグ推進とゴミの減量」の学習会をおこなった。3月18日に新治村須川小6年生29名に「環境学習」の授業をおこなった。計68名

# 環境に関わるコストと収益

## 【コスト】

単位：円 100円以下切り下げ

項目	主な内容	2003年度	2002年度	前年比
収集運搬費用	事業所廃棄物処理委託費用	18,478,000	18,866,000	98%
魚腸骨（アラ）リサイクル費用	飼料化	524,000	621,000	84%
食用廃油 リサイクル費用	飼料化	300,000	282,000	106%
	小計	19,302,000	19,769,000	98%
店舗リサイクル費用	中間処理、収集運搬費用	2,359,000	1,680,000	140%
共同購入リサイクル費用	中間処理、収集運搬費用	2,531,000	866,000	292%
	小計	4,890,000	2,546,000	192%
ISO14001審査費用	登録費用残金・登録証	1,933,000	1,650,000	117%
環境活動監査諸費用	学識者、組合員による環境活動監査	200,000	200,000	100%
環境報告書 資料編	印刷、製本	213,000	207,000	103%
マイバッグキャン登録費用	キャンペーン参加費等	73,000	60,000	122%
	小計	283,000	267,000	106%
容器包装リサイクル費用	再商品化委託料	3,136,000	3,489,000	90%
	合計	27,611,000	26,071,000	106%

## 【収益】

単位：円

項目	主な内容	2003年度	2002年度	前年比
緑の資金（回収品売却益）	牛乳パック、OCR用紙	594,000	609,000	98%
	合計	594,000	609,000	

○緑の資金は前年より15000円減少しました。

2003年度緑の資金の累計とその資金運用

単位：円 2003年3月現在

収入累計	支出（運用資金）	残高
1,883,000	384,000	1,499,000

2003年度、594000円の売却益がありました。

2003年度の支出（資金の運用）は、大気測定用5ccカプセル・コアノンロールを団体へ寄贈・エコベンチ・環境学習講師料などでした。

## 【リサイクルに伴う社会的費用の削減想定金額】

単位：円

項目	主な内容	2003年度	2002年度	前年比
各種リサイクル及びレジ袋の削減	リサイクルによって想定処理費用の節約	43,060,050	34,913,600	123%

リサイクルに伴う社会的費用の削減想定金額の内訳

	単価（円）	削減想定金額			重量（kg）	
		2003年度	2002年度	前年比	2003年度	2002年度
牛乳パックのリサイクル	50.0	2,908,350	3,357,650	87%	58,167	67,153
共同購入紙類のリサイクル	50.0	27,041,650	19,818,500	136%	540,833	396,370
店舗紙類のリサイクル	50.0	947,450	321,800	294%	18,949	6,436
本部、物流紙類のリサイクル	50.0	664,250	886,000	75%	13,285	17,720
ペットボトルのリサイクル	50.0	1,763,850	1,804,000	98%	35,277	36,080
食品トレイのリサイクル	50.0	589,600	666,500	88%	11,792	13,330
コープたまごパックのリサイクル	50.0		213,400			
		249,350		117%	4,987	4,268
共同購入の内袋のリサイクル	50.0	901,800	379,200	238%	18,036	7,584
生産工場排出物のリサイクル	60.0	7,128,000	6,672,000	107%	118,800	96,000
買物袋持参によるレジ袋の削減	50.0					
		865,750	794,550	109%	17,315	21,701
	合計	43,060,050	34,913,600	123%	837,441	666,642

○コープぐんまのリサイクル活動とレジ袋削減（発生抑制）取り組みの結果、その分廃棄処理にかかる費用を削減できたと評価しています。

重量で837tの廃棄物の削減と4,306万円の廃棄物処理費用を社会的な節約としてそれぞれ貢献できたこととなります。



# ISO14001 一年次サーベイランス結果

## サーベイランス結果は「向上」でした

4月14日(水)・15日(木)の2日間、審査期間JACO(日本環境認定証機構)の2名の審査員によって、1年次サーベイランス(点検)審査が実施されました。

審査結果は、総合評価「向上」でした。(向上は評価項目の中で最良)

内容は、

- 遵法性 → 適切に遵法している。
- 目的、目標の達成度 → 達成している。
- マネジメントシステム全体
  - 管理向上が3項目
  - 観察(不適合でないが改善が必要な事項)が3項目

※その他、審査を受けていて、改善すべき点もたくさん浮き彫りになりました。今後の対応改善が重要ですので、ISO推進委員会で検討していきます。



オープニングで熊倉常務の挨拶



共同購入事業部の審査



トップインタビュー

### 評価されたこと

- 目標が「組合員活動への参加目標数」以外すべて達成したこと(各部署、1年間の努力の結晶!)
- 群馬県との連携が強まったこと、群馬県から環境活動が評価されていること(組合員活動の評価)
- 共同購入事業部は、各センターの環境管理状況を自主点検表にて確認していくこと。
- 日生協や先進生協の支援を受け、内部環境監査員を13名増員し37名体制で有効な内部環境監をおこなっていること。

# 2004年度すすめていくこと

## 環境目的 (2006年度の到達点) と目標 (2004年度の到達点)

環境方針	環境目標 (2004年度達成)	環境目的(2006年度達成)	実施部署
環境に配慮した商品づくり、商品普及をすすめます	農薬、化学肥料を減らした店舗農産物を産直比率実績(地場野菜を除く)2002年度対比で0.7ポイント増やします	農薬、化学肥料を減らした店舗農産物を産直比率実績(地場野菜を除く)2002年度対比で1.3ポイント増やします	店舗事業部
	日配・水産・精米部門PB商品の仕様書点検と容器包装材質の変更で再商品化委託料金削減の可能性を検討します	2004年度にPB商品包装材質を変更決定した商品の材質変更を2006年度までに実施します	店舗事業部
	環境に配慮した商品の全店合計利用点数を2002年度実績対比で35.2%アップします	環境に配慮した商品の全店合計利用点数を2002年度実績対比で35.1%アップします	店舗
	布団打ち直し・丸洗い利用者を2003年度対比で3.0%増加します	布団打ち直し・丸洗い利用者を2003年度対比で9.0%増加します	生活総合事業部
環境活動の大切さを認識する組合員を増やし、地域のパートナーシップを広げていきます	2004年度末、環境活動に参加した組合員の人数を2003年度比11%増やし11,070名にします。	2006年度末、環境活動に参加した組合員の人数を2003年度比20%増やし12,000名にします。	組合員活動部
省エネルギー・省資源をすすめます	車両燃料使用量を2002年度対比で3.3%削減します	車両燃料使用量を2002年度対比で5.2%削減します	共同購入
	建物坪数あたりの電気使用量を2002年度対比で1.4%削減します	建物坪数あたりの電気使用量を2002年度対比で8.6%削減します	全部署
	建物坪数当たりガス使用量を2002年度対比で21.3%削減します	建物坪数当たりガス使用量を2002年度対比で22.9%削減します	リセロ細井・リセロ寺尾のみ
	組合員数あたりのコピー・印刷用紙の使用量を2002年度対比で25.7%削減します	組合員数あたりのコピー・印刷用紙の使用量を2002年度対比で38%削減します	店舗を除く全部署
	客数一人あたりのレジ袋使用量を2002年度対比1.0%削減します	客数一人あたりのレジ袋使用量を2002年度対比11.6%削減します	SM店のみ
	レスポンス状況を把握します。 (チラシ投入に対し資料請求の数)	チラシレスポンスを2004年度対比で5%を向上させ、相対的に資源の効率的使用を目指します。	生活総合事業部 (保険センター)
	仕分けミス、転記ミスを2003年度対し15件削減し、車輛燃料の使用やそれに伴う排ガス、騒音、振動の軽減を目指します	仕分けミス、転記ミスを2003年度対し25件削減し、車輛燃料の使用やそれに伴う排ガス、騒音、振動の軽減を目指します	物流センター (店舗配送センター)
廃棄物の削減と再資源化をすすめます	店舗商品の廃棄ロス高を2003年度対比100%に抑えます	店舗商品の廃棄ロス高を2003年度対比1.8%に削減します	店舗
	供給高あたりの全事業所の可燃ゴミの排出量を2003年度対比で100.5%に抑えます	供給高あたりの全事業所の可燃ゴミの排出量を2003年度対比で5.9%減らします	全部署
	リサイクル回収量を2002年度対比で28.3%増やします	リサイクル回収量を2002年度対比で30.9%増やします	店舗・共同購入
グリーン購入をすすめます	25のアイテムでグリーン購入を実施します	35のアイテムでグリーン購入を実施します	全部署



# 2003年度環境活動監査報告書

生活協同組合 コープぐんま  
理事長 峰岸 通 様

2004年 5 月 6 日  
コープぐんま環境監査委員会

委員長 西園 大実 (群馬大学教育学部 助教授)  
委 員 鈴木 克彬 (県環境アドバイザー 代表)  
福田 稔子 (コープぐんま 理事)  
中嶋かおる (コープぐんま 理事)  
山岸 良江 (コープぐんま 監事)

## 2003年度 環境活動監査報告書

コープぐんま環境マネジメント・環境監査規定第6条の規定により、貴組合の2003年度の環境活動監査を以下の通り実施しましたのでご報告致します。

### 監査経過

第1回 環境活動監査	本部棟 A会議室
2004年 5月6日	2003年度の環境活動監査
5月10日	監査報告書の取りまとめ
5月13日	理事会報告

2003年度コープぐんまの環境活動監査所見は、監査会議を実施の上、とりまとめました。この環境活動監査は、1999年度下期が初年度で 今期2003年度は、4回目の監査としてとりおこなわれました。

### 1. 取り組みに対する全体的所見

- (1) 環境問題への取り組み姿勢が企業の社会的評価となる昨今、昨年コープぐんまが、県下食品流通業では、初のISO14001の認証を取得し、取り組み1年後のサーベイランス(点検)審査で「継続的改善」が証明された“向上”を得たことは、大いに評価します。
- (2) 前回所見の「電気使用量の削減」や「ゴミを出さない取り組み」は、ISO14001の取り組みの結果、エスコ省エネ事業利用、レジ袋削減やリサイクル回収量アップなどの効果が現れ、また、新たな目標として、独自コープ商品の包装材の見直しや可燃ゴミの削減目標設定など新年度につながる取り組みも評価することができます。
- (3) 組合員さんや職員の努力によってマイ・バッグキャンペーンや県民エコDO(省エネ生活)企画を成功に導き、群馬県との連携もより強固なものとなり、県民環境活動の推進に役割を果たしていることは、評価に値します。

## 2. 今後努力してほしいこと

- (1) コープは、率先して、地球環境を守っていますが、その活動に「組合員の参加」をどう展開していくかが今後のカギだと思います。参加しやすい活動の模索や研究をさらに積み上げていくよう期待します。
- (2) リサイクル回収ボックスの中を見ると、提出ルールがあまり守られていません。環境保全活動は、ひとり一人の意識や考え方が重要ですが、宣伝活動も大切です。お知らせを強化した方がいいと思います。
- (3) 県民環境活動に尽力していることには敬意を表しますが、コープには、一般企業にはない組合員さんのパワーがあると信じています。そのパワーは、まだまだは出し切れていないように感じていますのでレジ袋有料化等のリーダーシップをとっていただきたいと思います。
- (4) 環境報告書は、毎年発行され、組合員総代さんや県下69市町村に訪問や郵送で、お届けしていますが、もう少し、読みやすく、見やすく、わかりやすい表現にする努力をお願いします。

## 3. 終わりに

コープぐんまの環境に関する組合員の取り組みは、リサイクル活動、マイバッグ持参運動、水や空気の測定活動、牛乳パックの紙すき、親子水辺の体験学習やバードウォッチングなど、多岐にわたり広がりをみせています。昨年から「ネイチャーインタープリター（自然をわかりやすく解説する人）養成講座を実施し、参加組合員さんの中には、男性の参加や夫婦での参加と新たな広がりを感じさせる企画となっています。また、組合員さん7名と群馬県環境政策課、地球環境グループの県職員との意見交換会を実施し、相互活動の紹介や確かめ合いをおこなったり、知事より県地球温暖化防止活動推進員に委嘱され、県民環境行動の推進力になったり、「人と地球にやさしい大型店表彰」をリセロ宮子が県から受賞したりと行政との対話が活発におこなわれていることも感じとれます。

環境事業面では、ISO14001の環境マネジメントシステムの取り組みにより、少しずつではありますが「継続的改善」が図られています。

今後も原点である“組合員の声”“社会的要求”や“生協の役割”をきちんと受け止め、ISO14001の環境マネジメントシステムを上手に日常業務の中に組み入れ、環境保全活動が継続的に実践されることを期待しています。

以 上

# 2003年度環境活動監査報告書への対応について

コープぐんま環境監査委員会 様

2004年 6 月23日  
生活協同組合コープぐんま  
理事長 中嶋 源治

## 2003年度 環境活動監査報告書への対応について

コープぐんまの環境活動監査を実施の上、環境活動監査報告書をまとめていただきましたことに感謝申し上げます。

コープぐんまの環境マネジメントは99年度下期にスタートし、4回目の年次環境監査を無事に受けることが出来ました。

組合員中心のリサイクル活動やマイバッグ持参運動など多岐にわたり活発に活動していることや「ネイチャーインタープリター養成講座」では、男性組合員や夫婦での参加があり新たな広がりを感じさせる取り組みと評価をいただいたこと、また環境事業面でも、昨年5月にISO14001の認証を取得し、1年次点検審査で「継続的改善」が図られている証の“向上”を得たことに対し評価をしていただき光栄に思います。

### 今後に期待すること

#### ・「組合員の参加」について

環境活動は、組合員の牛乳パック等のリサイクル運動が原点であります。組合員の生活スタイルや要求も多様化していますので、そのニーズを的確に捉え、分析し、「ネイチャーインタープリター養成講座」のようなより参加しやすい、要望に沿ったメニュー提供をすすめます。このような環境活動の参加を通して、自然環境の大切さを学び、くらしの見直しをおこなうことが、環境に配慮した生活改善や環境保全に結びつくことであると認識し今後も積極的に活動の提案をしていきます。

#### ・「お知らせ活動」について

リサイクル回収の提出ルールは、“お約束”として組合員さんをお願いをしていますが、まだまだ不十分です。ご指摘のように環境保全活動を支えるのは、一人ひとりの意識でありますので、機関紙“ほっと”、情報誌“プチほっと”そしてセールチラシ上に可能な限り“お約束”のお知らせをおこなっていきます。

#### ・「組合員のパワー」について

マイ・バッグキャンペーンや県民エコDO（省エネ生活企画）への組合員参加や群馬県環境政策課地球環境グループとの意見交換会実施など、行政とのコミュニケーションは年々向上していますが、今後は、生協の果たす役割の視点から組合員さんに率直に相談や提案をしていきます。

#### ・「環境報告書」について

今年も、組合員総代や県下69市町村に郵送等で届けを予定しています。

ご指摘の「読みやすく」「見やすく」「わかりやすい表現」が実現するよう、調査や研究をおこない、ご期待に応えられる努力をしていきます。

以 上

# ● あ ゆ み ●

年度	コープぐんまの環境活動	国内外の動き
1983年 1984年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミニ3店舗、レジ袋の有料化で出店する</li> <li>○業務用ラップフィルムを塩素系からポリエチレン素材に切り替える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際熱帯木材協定採択(83年)</li> <li>☆モントリオール議定書採決(87年)</li> </ul>
1990年 (H2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組合員の「ミルクパックの会」が牛乳パックの回収や整理を開始する</li> <li>○牛乳パックの回収活動を中心としたリサイクル委員会を設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球温暖化防止行動計画策定</li> <li>☆IPCC第1次報告書</li> </ul>
1993年 (H5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○測定調査のまとめや排水チェック活動を中心とした環境・洗剤委員会を設置する</li> <li>○中型3店舗にてリサイクルスタンプカードを試行導入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境基本法制定</li> <li>○省エネ2法施行</li> </ul>
1994年 (H6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コープぐんまの環境政策を策定する</li> <li>○中型店3店で食品トレイとペットボトルの回収が試行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境基本計画策定</li> <li>☆IPCC第2次報告書</li> </ul>
1995年 (H7)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前橋市地球にやさしい店舗に登録する</li> <li>○諮問委員会として環境政策具体化検討委員会(環境21委員会)を設置する</li> <li>○共同購入の配送車にLPG車(液化石油ガス)の導入を開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○容器包装リサイクル法制定</li> <li>☆COP1(ベルリン)開催</li> </ul>
1996年 (H8)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○桐生市環境にやさしい店舗に登録する</li> <li>○環境21委員会により「環境政策の具体化」を理事会へ答申する</li> <li>○40周年企画として組合員による環境フェスティバルを開催する</li> <li>○夏休みに、親子水辺の体験学習を開催する</li> <li>○リゼロ宮子開店、再生ペット素材を使用した制服着用する</li> <li>○牛乳パックの回収を「ミルクパックの会」活動から業務に移す</li> <li>○中型店全店でリサイクルスタンプカードを導入する</li> <li>○中型店全店で食品トレイとペットボトルの回収がスタートする</li> <li>○ミニコープ3店で食品トレイとペットボトルの回収が試行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大気汚染防止法改正</li> <li>○水質汚濁防止法改正</li> <li>☆砂漠化防止条約発効</li> <li>☆COP2(ジュネーブ)開催</li> <li>☆ISO14001発効</li> </ul>
1997年 (H9)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境活動具体化検討委員会(グリーン21委員会)を設置し具体化を促進する</li> <li>○牛乳パックの売却益(緑の資金)から「沼田市民の森」にブナの苗木を300本を植林する</li> <li>○お買い物袋持参運動のお手伝いとして、安価な布製お買い物袋を導入する</li> <li>○共同購入の商品案内チラシの回収がスタートする</li> <li>○ミニコープ全店で食品トレイとペットボトルの回収がスタートする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○容器包装リサイクル法施行</li> <li>○地球温暖化対策推進本部設置</li> <li>☆COP3(京都)開催</li> <li>☆国連環境特別総会</li> </ul>
1998年 (H10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境事業推進委員会が設置、事業上の環境管理の検討を開始する</li> <li>○環境マネジメント・環境監査制度の取り組みを開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○省エネ法改正・家電リ法制定</li> <li>☆COP4(ブエノスアイレス)開催</li> </ul>
1999年 (H11)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コープぐんま独自商品すべての容器包装を非塩素系素材に切り替える</li> <li>○共同購入のOCR用紙等の回収がスタートする</li> <li>○事業所のオフィス系用紙(ミックスペーパーや機密文書)のリサイクルがスタートする</li> <li>○独自商品の容器包装への識別表示への対応を開始する</li> <li>○生産工場の廃棄物量や二酸化炭素の排出量の把握を開始する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PRT法制定</li> <li>○ダイオキシン類特別措置法制定</li> <li>☆COP5(ボン)開催</li> </ul>
2000年 (H12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県マイバッグキャンペーンに参加する</li> <li>○容器包装リサイクル法完全施行に伴い、再商品化委託契約をおこなう</li> <li>○環境監査を受け、「環境報告書」初版を発行する</li> <li>○共同購入の食品トレイ、ペットボトル、たまごパック、内袋の回収がスタートする</li> <li>○中型店全店でたまごパックの回収がスタートする</li> <li>○廃棄物の収集運搬業者の調査と再編をおこなう</li> <li>○生ごみ処理機の導入実験をおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○循環型社会形成推進基本法制定</li> <li>○容器包装リサイクル法完全施行</li> <li>○グリーン購入法制定</li> <li>○リサイクル法改正</li> <li>○廃掃法改正</li> <li>☆COP6(ハーグ)開催</li> </ul>
2001年 (H13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食品リサイクル法に伴い、再生利用量の年1回の記録を開始する</li> <li>○牛乳パック回収強化月間を6月におこなう</li> <li>○97年ブナを植林した組合員が沼田市民の森に「ミルクパックの森」の看板を設置する</li> <li>○マイバッグの品揃えで「マイバスケット」を展開する</li> <li>○ISO14001の認証取得の取り組みを確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家電リサイクル法施行</li> <li>○食品リサイクル法施行</li> <li>○グリーン購入法施行</li> <li>○フロン破壊回収法制定</li> <li>☆COP6.5(ボン)開催</li> </ul>
2002年 (H14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県マイバッグキャンペーンの「ノーレジ袋ディ」に積極的に参加する</li> <li>○牛乳パックの売却益の一部でトレットペーパーコアノを4800ロール8施設に寄贈する</li> <li>○ISO14001の認証取得に向けて構築プロジェクト委員会を設置する</li> <li>○ISO14001の規格にそって環境マネジメントの運用を開始し、内部監査を受ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○省エネルギー法改正</li> <li>○土壌汚染対策法制定</li> <li>○京都議定書批准</li> <li>☆COP8(ニューデリー)開催</li> </ul>
2003年 (H15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○群馬県内小売業で初のISO14001認証を取得する</li> <li>○県マイバッグキャンペーンの「マイバッグの日」に積極的に参加する</li> <li>○牛乳パックの売却益の一部でトレットペーパーコアノを3000ロール10施設に寄贈する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆第3回世界水フォーラム東京で開催</li> <li>○7月環境教育推進法制定</li> <li>☆COP9(ミラノ)開催</li> </ul>





発行日 2004年7月

 **生活協同組合コープぐんま**

組合員活動部 環境グループ

〒376-8523 群馬県桐生市相生町1-111  
TEL 0277 (52)9628 FAX 0277 (54)1270  
e-mail : gunma\_hot@coopnet.or.jp  
<http://www.coopnet.or.jp/gunma/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています



環境に配慮した大豆インキを使用しています。